

17年のオンブズマン運動の重みを感じつつ、

仙台の先進的活動を実感

仙台市民オンブズマン・タイアップグループ副会長

弁護士 木山 悠



9月4、5日富山市内で、全国市民オンブズマン連絡会議第17回大会「市民も予算づくりせんまいけ」が開催され、仙台市民オンブズマンメンバーが参加しました。

全体会の報告では、弘前市が住民訴訟原告への訴訟費用を請求した問題で、全国市民オンブズマンの強力な反対運動によって、市長が請求を断念した経緯が紹介され全国連絡会議の存在感が示されました。近年、地方自治体の情報公開条例に対する権利乱用条項をつくり公開を拒否する動きが認められ、憲法違反の疑いがあると指摘されましたが、このように市民の住民自治を抑え込むという動きには、連絡会議で、闘って阻止していく必要があると確認されました。また、大会宣言と

して、市民が予算作りに参加するために、予算編成過程の情報公開・説明責任を徹底するよう自治体に求めることなどが採択されました。

分科会では、仙台のメンバーが担当した議会改革シンポジウム「市民が足を運ぶ、議員が足を運ぶ」に、多くの聴衆が詰め掛け、大成功となりました。



分科会には、北海道栗山町

議会事務局長として全国初の「議会基本条例」制定に携わった中尾修氏から議会基本条例の制定は全国に広がりつつあり議会も議会不要論に対する危機感を持っていることが指摘されました。さらに、中尾氏、議会ウォッチャー・仙台的の小野寺信一弁護士、相模原市議会をよくする会の赤倉昭男氏でパネルディスカッション

美しい仙台を創る会が会の軌跡を綴った「大赤字を隠して進む仙台地下鉄東西線」を出版しました

美しい仙台を創る会が会の軌跡を綴った

「大赤字を隠して進む仙台地下鉄東西線」



仙台市が進める地下鉄東西線の建設に反対している市民グループ「美しい仙台を創る会」(河村直人代表)の運動の軌跡をまとめた「大赤字を隠して進む仙台地下鉄東西線」(あけび書房)が出版された。同会は「市民運動の教科書としても活用してほしい」と話している。著者は青葉区の東北大学院生高橋梓さん(31)。音楽活動もしている高橋さんは、同会が2006年に開いた市民集会で演奏したのをきっかけに東西線計画に関心をもち、07年には計画で伐採されるケヤキ並木をテーマにした音楽CDの作成を企画した。高橋さんが活動を日記にまとめているのを知った同会メンバーが、活動記録本の執筆を依頼。同会の議事録や新聞記事を参考に、発足からケヤキ伐採の反対運動、東西線建設さし止め訴訟が終結するまでの経過を高橋さんが物語風に仕上げた。高橋さんは「会にかかわって初めて、問題の多い計画だと知った。理のある反対運動だったことを、多くの市民に知ってもらいたい」と語る。河村代表は「計画に反対の声があったことを後世に残したかった。会は今後も計画の検証や問題点の追及を続ける」と話している。(「河北新報」10月19日付より)

お求めは、県内の本屋さんもしくは吉岡法律事務所022(214)0550まで。価格は1600円+税。支援企画の会場でも販売します。ぜひ、ご一読を。

ヨンが行われ、議会からの情報発信と、市民からの議会への評価・参加方法について議論し、議会が首長のコントロール機能を果たすためには、議員による政策批判能力を持たせる必要があることが確認されました。小野寺弁護士からは、そのための仙台での取り組みとして議員の質問能力

を市民が評価し、これが選挙の結果に反映されるような仕組み作りとして議会ウォッチャーの活動が紹介されました。初参加をした私も、議論を聞いて、地方議会が改善されるためには、市民と議会が交わるのが大切であることを実感した二日間でした。



裁判傍聴のおねがい
別紙参照ください

議会ウォッチャー・仙台

議会傍聴をとおして、議会を変えるあらたな活動がはじまっています。ぜひご参加ください。詳しくは事務局まで。

驚きとため息!!
生の議会を
ウォッチ!!

【次回例会のご案内】
偶数月の第一火曜日
宮城地域自治研究所
(朝市ビル3階)

▼次回は12月7日(火)です
賑やかにおこないたいと思います。ふるって御参加ください。若干のお飲物などご用意しますが、持ち込みは大歓迎です。